

氣比神宮周辺公有地等の利活用方策検討調査業務委託
公募型プロポーザル審査結果について

- 1 委託業務の名称
氣比神宮周辺公有地等の利活用方策検討調査業務委託
- 2 選定した契約候補者
株式会社日本総合研究所
- 3 公募期間
令和7年5月15日から令和7年6月20日まで

4 審査委員会による審査の概要

(1) 審査委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
堤 宗和	敦賀市 副市長
野嶋 慎二	福井大学学術研究院工学系部門 教授
芝井 一朗	敦賀市 企画政策部長
織田 一宏	敦賀市 文化交流部長
戸嶋 吉昭	敦賀市 建設部長
高木 直茂	敦賀市 まちづくり観光部 特任部長
山田 博道	敦賀市教育委員会 事務局長

(2) 審査委員会の開催日

令和7年6月30日

(3) 審査基準

評価項目	評価の視点・基準	配点
敦賀市及び事業の理解度、取組意欲	・敦賀市の地勢、実状、事業箇所の特性、上位・関連計画、事業箇所周辺の関連事業並びに本事業に対して十分な理解と取組意欲を有しているか	10
同種・類似業務の実績	・同種・類似業務実績に基づくノウハウ及び経験を本業務に活かせる可能性が高いか	5
業務実施体制	・配置予定技術者は、調査業務に必要な技術や免許・資格を有し、業務実績も豊富であるなど、調査業務を遂行できる能力があると判断できるか ・業務実施スケジュールやフローの内容が具体的かつ実現可能か	10
業務内容	(基礎調査について) ・事業箇所に関連する上位・関連計画が良く整理されているか ・事業箇所周辺の土地利用の状況を把握するための調査項目や整理方法が良く整理されているか	5
	(市民意識調査について) ・調査方法が具体的に示され、市民意向の把握が十分になされる内容か	10
	(先進事例調査について) ・先進事例の調査地や調査項目などが利活用コンセプトや導入機能の検討の参考となることが期待される調査内容となっているか	5
	(利活用コンセプトの策定について) ・「敦賀まちづくりアクションプログラム」の施策の方向性に沿って、文教エリアとしての利活用コンセプトの策定に向けた利活用の視点が示されているか	20
	(導入機能の検討について) ・基礎調査、市民意識調査、先進事例調査、利活用コンセプトを踏まえて、導入機能を検討する調査手法が示されているか	20
独自提案	・仕様書に定める業務内容について、業務実績やノウハウを活かした独自の提案が具体的に示されているか	10
見積額	・5点×(最低提案価格/自社提案価格) ※小数点第2位以下切り捨て	5

5 参加者

氣比神宮周辺公有地等の利活用方策検討調査業務委託公募型プロポーザル募集要項に基づき、2者が参加しました。

6 審査結果

審査結果は以下のとおりです。

(1) 評点（順不同）

会社名	評点	平均点
株式会社日本総合研究所	593.6	84.8
B	489	69.8

- ・審査委員1人あたり100点満点
- ・審査委員の評点の平均点が上位で、かつ最低基準（60点）を満たすものを契約候補者として決定しました。

(2) 審査講評

- ・両者ともに優れた提案であったが、契約候補者は、独自提案について複数提案があったことに加えて、「敦賀まちづくりアクションプログラム」などの計画を読み込んだ上で、文教施設としての活用方法として、仮の活用方法まで示していた点を評価する。
- ・契約候補者は、敦賀市の各種計画を大変読み込み、要所を押さえた上で、報告書としてまとめられており、優れている印象である。
- ・契約候補者は、ワークショップを通じて合意形成を図る点において、ボトムアップということに重きを置き、深く関係者と意見を集約する手法が良いと感じた。
- ・次点契約候補者は、対象敷地の特性を読み解き、コンセプト導出に向けて4つの観点から事例分析を行い、可能性の幅が広がる提案があった点を評価する。

7 担当部署 敦賀市まちづくり観光部まちづくり推進課

〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号

TEL 0770-22-8137